

災害時連携協定調印式の様子が 中日新聞に掲載されました！

2024年8月23日(金) 朝刊 北勢版

福祉と医療 4法人が災害協定

四日市 防災研修、合同訓練でも連携

災害時連携協定調印式



災害時連携協定を交わした風薫会の大橋理事長(中央)ら＝四日市市富田浜町の富田浜病院で

四日市市内で特別養護老人ホームや介護施設、病院を運営する社会福祉法人「風薫会」「桜コミュニティ」「富田浜福祉会」と医療法人「富田浜病院」の4

者は20日、災害時の連携協定を結んだ。協定では、災害時の情報共有や物資支援、職員派遣、停止したサービスの代替支援などを盛り込んだ。

平時から防災に関する研修、自然災害や感染症を想定した合同訓練などにも取り組む。風薫会と桜コミュニティは昨年4月、有事の際に入所者らの安全安心を確保しよつと協定を結んでおり、新たに富田浜福祉会と系列の富田浜病院が加わった。今月8日の九州南東部の日向灘を震源とする地震発生時には、4者は緊急会議を開いて対応を協議したという。

同市富田浜町の富田浜病院であった調印式では、各法人の代表者があいさつ。風薫会の大橋秀行理事長は「今後いろいろな場面で手を携えらるとともに、これから(ほかの法人とも)調印を広げていきたい」と述べた。

た。4者は9月3日、南海トラフ地震が発生したと想定し、全施設をオンラインでつないで訓練を実施する予定。(軍司歩人)